

びとう和広後援会ニュース

20号外 No.1

発行日：

2020年6月1日

発行責任：

びとう和広後援会

会長：浅居繁樹

一緒に創りましょう！ 安心・元気なまち・三田！

後援会の皆様の力強いご支援に心から感謝いたします。

皆様からのご意見をもとに、本当の「安心のまち・三田」を創ります。今、三田市も、日本も、世界も、大きな転換点を迎えています。将来への責任を果たすため、皆様のご支援に応えられるよう、精一杯頑張ります。



「びとう和広」4つの政策！

びとう かずひろ 和広

- 「しっかり財政」 民間企業の視点と発想で税金の使い方をただし、効率・効果を図ります。
- 「にっこり安心」 医療サービスの整備と充実で、安心して暮らせる地域型福祉を進めます。
- 「のびのび育成」 結婚・出産・育児・教育・就職に対し、一貫した支援体制を確立します。
- 「いきいき活力」 三田の特性を活かした商工観光の推進と企業誘致・雇用拡大を図ります。

『びとう和広』後援会 新型コロナ対策で活動！！

今年の定期総会

びとう和広後援会定期総会 於：MELON三田会議室



昨年は定期総会で市政報告。
今年はメール会議で開催！

「びとう和広」の民間企業の視点に立った政策と、次世代に向けた将来像に共感頂き、更なる後援会会員拡大に向けて取り組んでいます。ご紹介を宜しくお願い致します。

「びとう和広」は、市政に送っていただき16年間、「皆様の声を市政に！」をモットーに、できる限り皆様のお宅や職場にお伺いするとともに、後援会行事を通してお会いしてご要望・ご提案をお聴きし、政策に織り込んで、訴えてまいりました。

現在は、新型コロナウイルス感染対策のため、書類やネットにより、情報交換するとともに、電話やビデオ通話でお話をさせて頂いています。これからも、対話が大切と考え、皆様から頂いた声をしっかりと市政に届けてまいります。皆様のご支援をいただけるよう、精一杯頑張ります。
＜コロナ窓口は三田市生活支援緊急サポートセンター：079-559-5111へ＞

びとう和広後援会
会長
浅居繁樹



【びとう和広 後援会 連絡先】

＜連絡先＞〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

＜自宅＞〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel.&Fax:079-562-8653
＜電子メール＞ bit@venus.dti.ne.jp
＜ホームページ＞ <http://www.Bito-Kazuhiro.com>

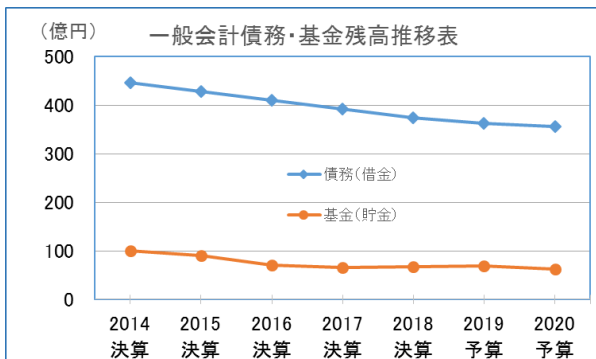
しっかり財政

三田市の一般会計は、4年前に比べ、貯金 7.5 億円減に対し、借金 54.6 億円減。市長・議員や職員の報酬・給料削減や事業見直しなどで**借金を削減**しました。

予算や決算審議では、私が訴えてきた**事業別の目的と成果**で検証され、細かく審査されています。

民間の感性・手法を活かし、将来に向けた、効率的で効果的な事業を提案し、情報基本計画の見直し、AIによるスマートフォンのLINEへの問い合わせ試行など、多くの事業を実現しました。提案した、**職員のテレワーク・キャッシュレス決済・自動交付機の使用対象拡大など、今回の新型コロナ対策にも効果を発揮**しました。

なお、新型コロナによる生活不安を考え、水道使用料は5〜8月の4ヶ月間無料となりました。



できるだけ**貯金**を使わず、**借金**を減らしました。

にっこり安心

市民病院中心の連携医療体制と、救急やリハビリの体制強化を訴え、医師・看護師の増員、救急体制の整備など運営も財政も改善、リハビリ病院誘致ができました。

消防署は、広い市域を考え、西分署・東分署を開設、救急車・消防車とも常駐し、**高性能消防車やドローンとの連携、SNSから緊急通報受入**など、充実できました。

警察や地域のパトロール強化／声かけ活動・**防犯カメラの各小学校区に 10 基など 217 基設置・防犯灯の LED 化**など、**犯罪抑止事業**を推進しました。

安心して働ける職場への働き方改革に、三田市が率先して「**イクボス(上長が率先して実践)宣言**」。

受動喫煙防止に向けた駅周辺の禁煙区域や喫煙所を、新設保育園の保護者の声を受け、見直しました。

環境美化推進重点区域及び路上喫煙禁止区域(平成30年)



赤の網掛が禁煙エリアでした。

緑の網掛の**保育園**が新設、指摘により、エリアを変更できました。

「びとう和広」4期目の成果!

のびのび育成

北欧フィンランドの子育てを参考に、切れ目のない子育てで支援を進めています。その拠点として、総合福祉保健センター内に、**子育て世代包括支援センター(チャッピーサポートセンター)**を開設し、保育体制の強化、病児保育の強化、子どもの居場所づくり拡充などを進め、安心して働きながら子育てが出来る体制作りを図るとともに、教育や就職への連携した支援体制の確立をめざします。

待機ゼロをめざした**保育施設の充実**、市立幼稚園の園区自由化・預かり延長・芝生園庭、などを実現しました。

放課後児童クラブの拡充を訴え、学年制限撤廃・時間延長・施設充実などを実現しました。

これからの**教育にIT化**の必要性を訴え、教職員のパソコン環境充実や、電子黒板やパソコン・タブレット端末などの導入、また、全教室にエアコン設置が実現しました。

中学校再編は、一定規模が必要だと訴えています。

2016年10月に開設されたチャッピーサポートセンター。三田市のキャラクターであるキッピー(左)とハッピー(右)の子がチャッピーです。



いきいき活力

第二テクノパーク(約 60 ha) は、企業誘致が進み、現在 12 社が稼働中で 2 社が契約済み(残り 1 区画)、新年度は第三テクノパークの構想を進めます。

J R ・ 神戸電鉄 ・ バス路線に加え、地域の移動支援などを進め、活力あるまちをめざしています。

また、**空き家・空き店舗**の再利用促進を図り、住宅地の安全とブランド維持、地域力の向上を促し、都市環境の整備と子育て支援や教育の優位性で、子育て世代の呼び込みを進めてきました。

三田駅周辺では、キッピーモール南の B ブロックの開発が完了し、C ブロックが開発準備中です。

市街化調整区域では、**新三田駅周辺**の開発は、土地区画整理事業で市街化区域に編入し、**相野駅周辺**では、集落地区計画・土地改良事業・土地区画整理事業が進行中です。

テクノパークの通勤渋滞の解消を要望し、昨年度実現。



北行き交差点右折溜りを 30m 延長!

一旦停止を変更。テクノパークに入る道路が優先に!